

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (血液学ユニット)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
1	人体の構造と機能 1) 造血幹細胞の特徴を説明でき、血球への分化に関わる主な造血因子について説明できる。	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic) D
4	病因と病態 2) 貧血、汎血球減少症の分類、成因について概説できる。 3) 止血、凝固異常をきたす疾患の成因について概説できる。 4) 造血幹細胞の異常により生じる疾患 (再生不良性貧血、骨髄異形成症候群) の成因について説明できる。 5) 急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病の定義、分類について説明できる。 6) 慢性骨髄性白血病、骨髄増殖性疾患の定義、分類について説明できる。 7) 悪性リンパ腫の定義、分類について説明できる。 8) 多発性骨髄腫などの形質細胞腫瘍の定義、分類について説明できる。	

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (血液学ユニット)
5 診断 6 治療、予防	<p>9) 貧血，汎血球減少症の診断，治療について概説できる。</p> <p>10) 止血，凝固異常をきたす疾患の診断，治療について概説できる。</p> <p>11) 造血幹細胞の異常により生じる疾患（再生不良性貧血，骨髄異形成症候群）の診断，治療について説明できる。</p> <p>12) 急性骨髄性白血病，急性リンパ性白血病の診断，治療について説明できる。</p> <p>13) 慢性骨髄性白血病，骨髄増殖性疾患の診断，治療について説明できる。</p> <p>14) 悪性リンパ腫の診断，治療について説明できる。</p> <p>15) 多発性骨髄腫などの形質細胞腫瘍の診断，治療について説明できる。</p> <p>16) 免疫抑制療法と造血因子製剤，及び支持療法の概念と方法を説明出来る。</p> <p>17) 化学療法と分子標的療法の概念，方法，成績，合併症とその対策について説明出来る。</p> <p>18) 造血幹細胞移植の分類，概念，方法，成績，合併症とその対策について説明出来る。</p> <p>19) 輸血療法に必要な検査，方法，合併症とその対策について説明できる。</p> <p>医療安全</p> <p>20) 化学療法に際して安全な副作用マネジメントについて説明できる。</p> <p>21) 治療選択における患者・家族に対する適切なインフォームドコンセントの取得・治療プロセス・安全管理について説明できる。</p>	
IV. 診療の実践		
<p>千葉大学医学部学生は，卒業時に</p> <p>患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。</p>		
6	<p>検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。</p> <p>22) 貧血，汎血球減少症の検査，結果を解釈できる。</p> <p>23) 止血，凝固異常をきたす疾患の検査，結果を解釈できる。</p> <p>24) 造血幹細胞の異常により生じる疾患（再生不良性貧血，骨髄異形成症候群）の検査，結果を解釈できる。</p> <p>25) 急性骨髄性白血病，急性リンパ性白血病の検査，結果を解釈できる。</p> <p>26) 慢性骨髄性白血病，骨髄増殖性疾患の検査，結果を解釈できる。</p>	<p>基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)</p> <p>C</p>

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (血液学ユニット)	
	27) 悪性リンパ腫の検査, 結果を解釈できる。 28) 多発性骨髄腫などの形質細胞腫瘍の検査, 結果を解釈できる。		
7	治療計画を提案できる。 29) 貧血, 汎血球減少症の治療計画を立てられる。 30) 止血, 凝固異常をきたす疾患の治療計画を立てられる。 31) 造血幹細胞の異常により生じる疾患 (再生不良性貧血, 骨髄異形成症候群) の治療計画を立てられる。 32) 急性骨髄性白血病, 急性リンパ性白血病の治療計画を立てられる。 33) 慢性骨髄性白血病, 骨髄増殖性疾患の治療計画を立てられる。 34) 悪性リンパ腫の治療計画を立てられる。 35) 多発性骨髄腫などの形質細胞腫瘍の治療計画を立てられる。		
10	Evidence-based medicine (EBM) を実践できる。 36) 未解決な問題に関する臨床的あるいは科学的論文を検索し, 必要な情報を入手することができる。 37) EBMに基づいた標準治療について理解できる。		